

Vol.35

〈発行日〉
令和7年1月1日

松下ゆきよし



県政活動レポート

発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉

連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135

TEL (089) 969-3605



新年あけまして
おめでとうございます

昨年は元旦の能登半島地震から始まり、4月に豊後水道、8月日向灘を震源とする地震に日本列島が揺れた二年でした。また、夏は何度も豪雨に見舞われ、自然の猛威を知らされた年でした。今年の干支は「巳」。変化する干支であり、災害から力強く立ち上がる年になると信じています。表紙は、前号に続いて大石涼さんの作品です。瀬戸内の港に係留された新型のコンテナ船。船名は日本語読みすれば「ワンアカリア」。「AQUILA」はラテン語で「ワシ（鷲）」を意味するそうです。大石さんの作品はどれも精緻で、目の前にマゼンタ色に塗装された船体が迫ってきます。

初夢の なかをわが身の 遍路行

飯田 龍太

▲題名…新造船ワン・アカリア（水彩画）

作者…大石 涼

令和6年12月県議会の概要

11月27日から開催されていた第390回定例県議会は、条例6、補正予算8、意見書1、その他9の24議案を原案可決、伊方原発3号機の使用延長をやめる請願を不採択として12月13日に17日間の会期を終えました。

なお、国の経済対策補正予算の成立を受けて、議会最終日に追加の補正予算案が上程され、同日委員会審議を行い、原案可決しました。

1 条例

① 森林環境税（県税）の適用期限を5年延長するため森林環境税条例を一部改正



議長席に飾られた鉢植えの「紅まどな」

2 補正予算

② 3月2日から実施されるマイナンバーカードと運転免許証の一体化に伴う手数料新設など県警察関係事務手数料条例の一部改正

③ 人事委員会の勧告に基づき職員給与を改定するため関係条例を改正ほか3件の条例改正

12月補正予算は、国の総合経済対策の裏付けとなる第2次補正予算の成立を見込んで追加提案があり、一般会計503億4,995万円、特別会計1億2,949万円、企業会計13億8,987万円と昨年に続いて大きな補正予算となりました。なお、このうち一般職員と特別職の給与改定に伴う増額は65億2,498万円（表2）です。

▼当面措置が必要な経費

32億3,653万円

国による児童手当などに係る制度改正や住民税の定額減税に伴う影響への対応、児童生徒1人1台端末等の計画的な更新への備え、県試験研究機

【表2】給与改定と児童手当

1 給与改定 65億2,498万円

(1) 一般職 65億2,175万円

(一般会計 53億6,047万円)
(企業会計 11億6,128万円)

区分	職員数	予算額
一般会計	2万 1,708人	53億 6,047万円
一般職員	4,238人	9億 8,620万円
警察職員	2,863人	7億 7,906万円
学校職員	1万 1,701人	27億 9,068万円
会計年度任用職員	2,906人	8億 453万円
企業会計	2,829人	11億 6,128万円
一般職員	2,116人	7億 5,241万円
会計年度任用職員	713人	4億 887万円

(2) 特別職 323万円

(一般会計 317万円 企業会計 6万円)

2 児童手当 1億5,672万円

【表1】12月補正予算の概要

[当初に提案された補正予算]

一般会計 87億3,313万円 企業会計 11億8,510万円

1 当面措置が必要な経費	32億 3,653万円
2 人事委員会勧告に基づく給与改定	66億 8,170万円

【追加提案の補正予算(総合経済対策)】

一般会計 416億1,682万円 特別会計 1億2,942万円

企業会計 2億478万円

1 エネルギー価格・物価高騰への対応	35億 3,197万円
(1) 生活者への支援	8億 8,366万円
(2) 中小企業等への支援	15億 2,688万円
(3) 農林水産事業者への支援	11億 2,143万円
2 防災・減災対策等の推進	384億 1,905万円
(1) 土木施設の防災・減災対策	326億 5,616万円
(2) 農林水産施設の防災・減災対策	52億 721万円
(3) その他	5億 5,568万円

関等の機能強化など、当面措置が必要な経費。

▼人事委員会勧告に基づく給与改定等
66億8,170万円

▼エネルギー価格・物価高騰への対応
35億3,197万円

①生活者への支援

・LPガスを利用する家庭や事業者の負担軽減 (8億8,366万円)

②中小企業等への支援

・企業の生産性向上への設備投資支援 (11億円)

対象は県内に本店・本社のある90社(個人事業主含む)。200万円以上の設備投資が条件。対象経費

の2分の1(上限1千万円)を補助します。4.5%以上の賃上げを伴う場合は、割合を3分の2(上限1,333万円)に拡充。支援を望む事業者を公募し、審査する方針。

・CO₂排出量の削減や再生可能エネルギーの創出・貯蔵に資する設備投資を支援 (3億67万円) など

③農林水産事業者への支援

・園芸用中古ハウスの修繕補強による有効活用の後押し (1,215万円)

・畜産農家の家畜導入補助 (3億8,991万円)

経営継続に意欲のある畜産農家が、

繁殖用の雌和牛・母豚や搾乳用の雌牛、肉用和子牛、採卵鶏のヒナを購入する際の経費について、定額や2分の1以内などの割合で補助金を支給します。対象は来年1年間で、各業界団体を通して申請。

・原木生産における伐倒から運搬に要する燃油価格高騰分や、コンテナ苗生産における資材価格高騰分を支援 (1億4,482万円)

・漁業用燃油や養殖用配合飼料価格の高騰分に対し支援金を支給 (3億1,793万円) など

④防災・減災対策等の推進

384億1,905万円

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を活用し、次の様な事業を行います。

①土木施設の防災・減災対策

・道路整備や橋りょう補修等の老朽化対策 (47億4,091万円)

・河川の改修、ダム施設の老朽化対策 (126億2,524万円)

・土砂災害防止施設の整備 (63億1,410万円) など

②農林水産施設の防災・減災対策

・ため池の整備 (10億5,949万円)

・林道・森林・治山施設の整備 (22億9,343万円) など

③その他

・花粉発生源の減少対策 (4,177万円)

・地籍調査負担金 (3億913万円) など

3意見書

持続可能で強固な食料供給基盤の確立を求める意見

4その他

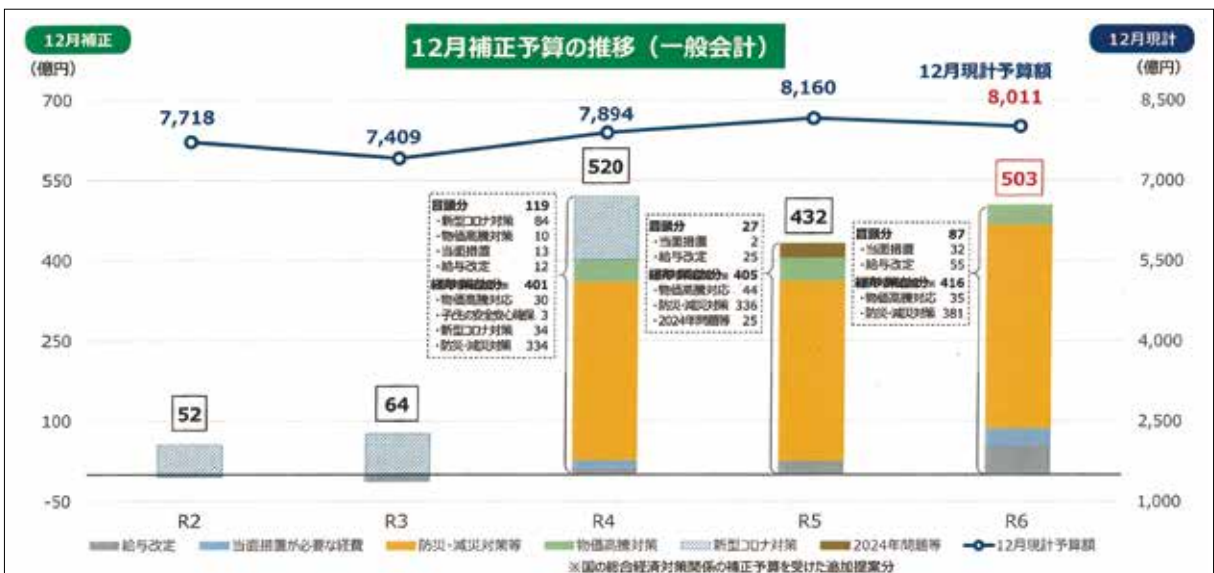
(1) 令和7年度の宝くじ発売限度額(127億9,600万円)の決定。

(2) 南予水道事業団からの公平委員会事務の委託。

(3) 土木建設工事の負担金額変更(2件)の決定。

(4) 県一般会計補正予算第3号(衆議院選挙に伴う経費)10億76万円の承認。

(5) 継続審査となっていた令和5年度決算4件の認定。



松山南高校砥部分校 地域とともに、100年目の未来に向けて



2年生全員が秋季県展デザイン部門に出展します。40枚のB1パネルが並ぶ教室の景色は壮観です。(令和6年10月)



令和6年度から始動したデジタルクリエイション部ゲームクリエイション部門のひとコマです。株式会社オートクチュールの職員に指導してもらいながら、scratchでゲームを作っています。(令和6年10月)

砥部分校の前身、県立砥部高校は、1948(昭和23)年定時制普通科高校として誕生しました。昭和37年に松山南砥部分校となり全日制の工芸科、家庭科高校として再出発。その後、家庭科が廃止され、工芸科をデザイン科と改称。1986(昭和61)年に現在の場所に移転しています。

2022(令和4)年、県内に波紋を広げた県立高校再編計画では、砥部分校も当初統合の対象とされました。しかし、地域住民による存続に向けた地道な活動、さらに企業と高校が連携し未来に向けた具体的なプランを提示した結果、前期計画(令和5年(9年)中の統合が見送られました。

令和7年度からはゲームクリエイションコース(注1)を新設し、新入生

の定員を2学級80名に倍増します。地域とともに、百年目の未来に向けて砥部分校の挑戦がはじまりました。

(注1)ゲームクリエイションコース

最新の技術と最新のソフトを使ってイラスト、2Dアニメーション、3DCG、ゲームプログラミングなど幅広く学習します。現役でゲームを制作している(株)オートクチュールのクリエイターが対面で授業をします。



令和7年度に新設するゲームクリエイションコースのプレ授業の様子です。砥部分校内にサテライトオフィスを設ける株式会社オートクチュールの社員から、ゲーム制作の指導を受けています。(令和6年2月)

とべぶんの学び

砥部分校では、クラフト表現からデジタル表現までの幅広い分野のデザインを学ぶ事ができます。1年生では工業技術基礎、デザイン実践、デザイン探求、ゲームデザインなどデザインの様々な分野の学習を幅広く全員が学習し、自分の特性にあったデザインのジャンルを探り、基礎的な知識や技術を身につけていきます。2年生になると、デザインコースかゲームクリエーションコースのどちらかを選択します。3年生では2年生で選択したそれぞれのコースをさらに深く学習し、自分自身の進路実現に向けての準備や卒業制作に向けての集大成となる作品制作を行っていきます。

なお、2、3年生では専門科目と普通科目との選択授業が設置され、受験や資格取得など、それぞれの目的に合わせて柔軟に科目を選ぶことができます。定員は80名です。

コース選択の流れ

1年生 「基礎の学年」の特徴的な科目

工業技術基礎

写真
ウッド
セラミック
ファイバー
コンピュータグラフィックス
上記全てをショップ形式で学びます

学校設定科目

デザイン探求
デザインに関わる基礎的な知識や技術を平たく学んでいきます
ゲームデザイン！
ゲーム制作に必要な基本的な知識や技術を平たく学んでいきます

2年生 「応用の学年」のコース

デザインコース

視覚伝達デザイン領域
やきもの工芸デザイン領域
総合デザイン領域
実習では3つの領域から一つ選択します

ゲームクリエーションコース

ゲームプログラミングイラスト表現
2Dアニメーション
3DCG
全ての分野を学んでいきます

2つのコースから選択

3年生 「発展の学年」のコース

デザインコース

視覚伝達デザイン領域
やきもの工芸デザイン領域
総合デザイン領域

ゲームクリエーションコース

ゲームプログラミングイラスト表現
2Dアニメーション
3DCG

2年次選択したコースを引き続き学習



定員45名を予定した鉄骨造2階建ての学生寮です。完全個室で、寮職員が常駐します。食事は共用棟の厨房で調理した食事を平日の朝と夕方提供し、昼食は別途負担となりますが砥部町給食センターで調理した食事を希望者に提供します。

砥部分校寮 トベリエ



寮費月額 58,000円

平日の朝夕の食事代、光熱費を含みます。寮費は、寮運営日数等に関わらず、毎月同額になります。なお、夏季休業期間(お盆休み)や冬季休業中(年末年始)に関しては、寮の運営を休止します。

朝・夕
食事付き

完全個室

寮職員
常駐

一部屋
1K

学校まで
徒歩 10分

家具・家電付

各部屋
簡易キッチン付

ユニットバス

Wi-Fi完備

リアルタイムの
とべぶんは
こちらから



公式ホームページ



Instagram



YouTube

10/18

台湾新北市鶯歌区公所で行われた同区と 砥部町の国際交流覚書締結式に立ち会いました

砥部町と鶯歌区（注②）は陶磁器を通じて民間交流を続けてきましたが、この度二層の交流促進へ向けて覚書を締結しました。締結式には愛媛県から中村知事、三宅議長等々。台湾か



関係者が署名した記念皿を手した中村愛媛県知事（右）その右に佐川砥部町長。知事の左に朱新北市副市長、その左に曾鶯歌区長。中央から右側が愛媛県関係者。左側が鶯歌区関係者。



締結式会場には鶯歌焼の作品が提示され、通訳を交えて若い陶工から熱心に説明してもらいました。写真右から三宅議長、松下。

らは新北市副市長等双方の関係者が立ち会いました。松山空港から桃園空港へ直行便が週3日運航されるようになり、ますます近く感じるようになった台湾です。これから観光や文化面でも交流が深まると期待されます。

（注②）鶯歌区…インゴ。日本語読みは「おうか」。台湾の代表的な陶器「鶯歌焼」の産地。新北市の直轄区で、同市の西端に位置する。人口88,000人。



陶器店や飲食店が立ち並ぶ鶯歌老街。陶器の街だけあって、道路が陶器（タイル）で作られています。



鶯歌焼をリードする窯元「台華窯」で、職員（写真左）から説明を受ける。（中央）

松山空港から台湾へ直行便

週3便

松山 → 台北

航空会社	便 名	曜 日	出発時刻	到着時刻
EVA AIR	BR109	水・木・日	11:25	13:15

台北 → 松山

航空会社	便 名	曜 日	出発時刻	到着時刻
EVA AIR	BR110	水・木・日	6:45	10:05

※発着時刻および機種は予告なしに変更する場合があります。 ※天候やその他のやむを得ない理由により遅発・欠航する場合があります。

▼兵庫県知事選挙の結果がマスコミを賑わしました。議会から不信任

議決され辞職した斎藤知事が、知事選に再び立候補し勝利したのですから、話題にならない訳がありません。斎藤氏の勝因に挙げられるのがSNSです。NHKの出口調査では、投票する際に最も参考にしたのは「新聞」や「テレビ」より、「SNSや動画サイト」だったとのこと▼SNSや動画サイトの情報は虚実入り交じっているだけでなく、広告収入を目当てにした投稿も少なくありません。今回は、「パワハラ」や「物品の要求」は、新聞やテレビがでっち上げたもので、「斎藤氏は被害者。議会やマスコミの罠にはまった」といった投稿が拡散。



これらが追い風となって、加速度的に斎藤氏支持の輪が広がっていきました▼しかし、一人の職員が命を落としています。この事実、何処へ行ってもあったのでしょうか。SNSは政治参加を促す有効なツールでもありますが、デマの拡散やひぼう中傷による影響も残りました。選挙とSNSの関係はどうあるべきか。兵庫県知事選挙は大きな課題を残しました。

▼昨年5月にあった静岡県知事選で、自民党の女性候補者の応援に立った上川陽子外相(当時)が「この方を私たち女性がうまくして何が女性でしようか」と発言したことに対して、野党などから一斉に批判の声があげられました。批判は「出産を望んでいて

欠ける」というものです。前後の発言を聞けば「女性パワーで知事を誕生させよう」と呼び掛けたことは誰にも分りますが、当時上川氏は初

の女性首相候補と噂されており、この問題が足かせになることを恐れたのか翌日発言を撤回しました▼価値観や生き方が多様な現在、言葉の受け取り方は人それぞれです。そこで誤解を恐れて言葉を慎めば表現は平板になってしまいます。新聞やテレビそしてSNSも加わり、情報の発信ツールが増えた今こそ、自らの発言に覚悟が必要です。早々に発言を撤回した上川氏。それで彼女は自らを守ることができたのでしょうか。

▼子供の頃、小学校の運動会は10月1日と決まっていました。運動会が終わると稲刈り、秋祭り、柿の取入れ、その後ミカンへと移ります。当時の砥部はミカンと富有柿の生産が半々くらい。我が家では柿を多くつくっていたように記憶しています▼この富有柿、山で食べるとことのほか美味しかった。父は手先が器用で、ミカンや柿を摘むハサミで器用に柿の皮をむいてくれたのを思い出します。小さな反った刃先で、薄く薄くむく。母に言わせると根がケチだからだそうです▼その父や母はもう思い出の



中の人になっています。「昔とは父母のいませし頃を云い」。昭和初期の川柳作家麻生路郎(じろう)の句です。昨年はいつになく夏の暑さが残り、11月に入つてやっと秋の気配が漂い始めました。両親が存命だった頃に戻れないように、春夏秋冬がはつきりとしていたあの頃にはもう戻れないのでしょうか。

山の上の家事学校

著者：近藤 史恵

出版：中央公論新社

私の本棚

晴走雨読
せいそううどく

最初の授業で、校長が
仲上たち新入生に次の

ようになります。
「お兄ちゃん、離婚してから、ずいぶん痩せたし、
顔色も悪くなったよ。独身男性は既婚男性や独
身女性と比べても、寿命
が短いつて聞くよ」「わたし、
嫌だからね。孤独死
したお兄ちゃんの死体を
確認しに行くの」。妹の
言葉が身にしみたのか、
仲上は家事学校に通う
ようになります。



いた一冊です。

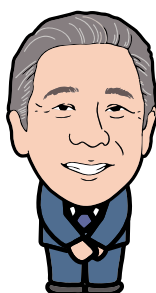
「お兄ちゃん、離婚してから、ずいぶん痩せたし、
顔色も悪くなったよ。独身男性は既婚男性や独
身女性と比べても、寿命
が短いつて聞くよ」「わたし、
嫌だからね。孤独死
したお兄ちゃんの死体を
確認しに行くの」。妹の
言葉が身にしみたのか、
仲上は家事学校に通う
ようになります。

離婚してから1年、ご多分に漏れず仲上の生活
は乱れました。心配した実の妹（和歌子）が、男
性だけに家事を教える学校「山の上の家事学校」
を紹介します。その時、和歌子は仲上に言います。
「お兄ちゃん、離婚してから、ずいぶん痩せたし、
顔色も悪くなったよ。独身男性は既婚男性や独
身女性と比べても、寿命
が短いつて聞くよ」「わたし、
嫌だからね。孤独死
したお兄ちゃんの死体を
確認しに行くの」。妹の
言葉が身にしみたのか、
仲上は家事学校に通う
ようになります。

この本は、妻子に出て行かれた中年男性の物語
です。主人公の仲上は43歳の新聞記者。取材先
で知り合った妻とは3年ほど交際してから結婚。
翌年子供が生まれ6年が経ちます。家事・育児
は妻にまかせて仕事一筋。妻を信じ切っていました
が、ある日妻は離婚届を置いて出て行ってしまいま
す。離婚届の横には、仲上のここ1年間の行状を
書いたメモが置かれていました。男の目からみて、
それはほんの些細なこと。離婚の理由になる
とは思えませんが、女性が抱く不満とはこういっ
た些細なことだと、著者が女性であるだけに説得
力があります。仲上は白旗を揚げ、離婚に応じ
ました。

日本で出生率の低下が目立つようになったのは
1980年代中頃。この時期、男女雇用機会均等
法が施行されましたが、女性の社会進出はいまだ
に進んでいません。少子化は、家事に無関心な男
性に対する女性からの警告だと思ふと腑に落ち
ます。男性が家事をしないワークライフバランスの
歪み^{ゆがみ}が、社会の在り方に想像以上に悪影響を及
ぼしているのかもしれない。

ように説明します。「家事とは、やらなければ生
活の質が下がったり、健康状態や社会生活に少
しずつ問題が出たりするのに、賃金が発生しない
仕事、すべてのことを言います。多くが自分自身
や、家族が快適で健康に生きるための手助けをす
ることで、しかし、賃金の発生する労働と比べて、
軽視されやすい傾向にあります」。これは、著者
から日本社会への警鐘のように聞こえます。仲上
は学校で家事を学んでいくうちに、生活を自分の
力で回すことを覚え、少しずつ人生を取り戻しま
す。そして、自分がいかに妻の心を踏みにじってい
たかに気付いていきます。



愛媛県議会議員

松下 行吉 まつした ゆきよし

〒791-2141 愛媛県伊予郡砥部町岩谷口 135

TEL 089-969-3605 FAX 089-969-3606

Email : matsushita31@iyo.ne.jp

<http://www.iyo.ne.jp/matsushita31/>



このレポートは環境に配慮した
FSC®森林認証紙を使用しています